

井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会
第10回 学校運営部会

会 議 録

日 時	令和6年6月26日（水） 午後6時30分～午後7時00分	
場 所	井泉公民館 講堂	
委 員	平野委員、細村委員、細井委員、染谷委員、高野委員、林委員、 内田委員、今成委員、小山委員、長谷川委員、小竹委員、蓮見委員、 卯ノ木委員	
事 務 局	米花教育総務課長、蓮見学校教育課長、平川教育総務課総務係長	
会議の内容	1 開会 2 副部会長あいさつ 3 議事 （1） 井泉小・三田ヶ谷小・村君小再編成準備委員会の協議結果について （2） 校章デザインの最終案決定方法について （3） 校章デザインのアンケート案について （4） その他 4 閉会	
会 議 録		
1 開会	司 会 (教育総務係長)	井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 第10回学校運営部会を開会する。
2 副部会長あいさつ	副部会長	<平野副部会長あいさつ>
	司 会 (教育総務係長)	議事の進行については副部会長にお願いします。
	副部会長	議事に入る。本日の会議の目的は、再編成準備委員会の協議結果を基に、校章デザインの児童投票について協議するものである。
3 議事 （1） 井泉小・三田ヶ谷小・村君小再編成準備委員会の協議結果について	司 会 (教育総務係長)	議事（1）について事務局の説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	令和6年5月22日に開催された再編成準備委員会の協議結果について （1）校章デザインについてである。 ①児童アンケートを実施する校章デザインについて

(2) 校章デザインの最終案決定方法について		は、学校運営部会での第2次選考結果のとおり、5案で投票を行うこととなった。 ②児童アンケートによる選考方法については、5つの案で投票を行うことにより、票が割れることが想定されるため、あらかじめ選考方法やルールについて決めておくこととなった。 (2) 校歌についてである。 ①校歌の作詞、作曲については、学校運営部会の協議結果により、第1案であった橋本祥路氏に依頼することについて了承された。 ②校歌の完成時期は、開校年度の2学期までとすることについて報告し、了承された。
	副部会長	今の説明について質問、意見はあるか。 特になし
	副部会長	議事(2)について事務局の説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	校章デザインの最終案の決定方法についてである。 再編成準備委員会での協議により、あらかじめ選考方法やルールについて、学校運営部会や事務局で決めることとなった。そこで、次の方法を参考とし、児童投票により最終案を決定するための選考方法・ルールについて協議をお願いしたい。 (1) は、単純多数決による方法である。 投票により、最も投票数の多かった案を採用する。ただし、票が割れ、第1位と第2位が同数になることも有り得るため、その場合のみ、2案による決選投票を行う。この方法は単純明快で分かりやすいメリットがあるが、1票でも多い案が採用となるため、特に票が割れた場合は、納得感が低くなってしまうデメリットがある。 (2) は、過半数の得票を得るまで投票する方法である。 投票の結果、第1位の案の得票率が50%を超えるまで投票を行う。例としては、第1位の案が50%を超えなかった場合、上位2案による決選投票を行う。仮に、第2位と第3位の得票が同数であった場合は、3案による決選投票となる。この場合、やはり第1位の案の得票率が50%を超えないことが有り得るた

		め、再度決選投票を行う可能性もある。この方法は、過半数の得票を必要とするため納得感が高くなるメリットがあるが、最大で3回の投票が必要となるなど、時間や手間がかかるデメリットがある。 (3)は、順位付け得点による方法である。 これは、5案について、子どもたちが良いと思う案を1番から5番まで順位付けしてもらおう。順位ごとに配点を決めておき、最得多点を取った案を採用する。この方法は、幅広い支持を反映できるメリットがあるが、投票方法が複雑になり、低学年の子どもたちには難しいというデメリットがある。 以上の案を参考に、どのような方法、ルールにより決定するのが良いか、協議していただきたい。
	委員	児童が投票するので、子どもが分かりやすいものが一番良い。総理大臣の選挙と同じように、過半数にいなかったら決選投票というのが一番良い。
	委員	多分子どもたちで投票すると、甲乙つけがたく票が分かれてしまう。1票の差で決められてしまうよりは、決選投票があった方が良い。僅差だと悔しいと思う。決選投票があった方が、より精度が高くより良いものを選んでくれる気がする。
	副部会長	先ほど事務局からの説明もあったが、低学年の子たちには難しいのではないかといったことや、その時間と手間もあったと思うが、実質、アンケートをとる場合は学校でのことになると思うがどうか。
	委員	一人一人がタブレットを持っているので、タブレットを経由して投票すれば、手間はかからず集計も楽かと思う。タブレットで集計することは可能か。
	事務局 (教育総務課長)	グーグルフォームで集計が可能である。
	委員	校章は、これから羽生東小のシンボルになるので、多少手間がかかっても得票率が50%以上の、皆が納得するようなものが良いと思う。
	委員	私も(1)の方法は一票差でも決まるので納得感が

		少ないと思う。低学年の児童にとって難しくても、政治の世界でも日本の総理は（２）のような方法で決めるので、勉強にもなる。（２）が良いと思う。 ３校の児童が、同じ日の同じ時間に行うのか？
	事務局 (教育総務課長)	そこまではまだ検討していない。
	委員	時間がずれても同日にやった方が良い。
	委員	結果は学校を通さず、全て教育委員会にデータが届く。学校側は、その時点では把握できない。
	委員	（２）で良い。
	委員	納得することが大事だと思う。学校で、学年によってその説明の仕方をきちんとすれば良い。 ただ、（２）の場合、説明する言葉を３校同じ言葉にしておかないと、不公平が出るかもしれない。先生たちが言葉をそろえないといけない。
	委員	学校の仕組みとしては、３校同時にタブレットで全児童ができるのか。タブレットにデータを移すときに同じ説明を入れて投票できるか。
	委員	同じ内容の説明を入れて投票させることはできるか。
	委員	例えば、グーグルフォームに１年生アンケートとしておいて、中身は一緒でもその説明文は１年生が分かるようにしてあるなど、学年ごとにしておけば３校同様に情報は伝わるし良いと思う。
	委員	それならば可能かと思う。その方が学校同士の説明のばらつきがなくなって、同じ条件で投票できる。その結果が教育委員会にいて、得票率が５０％になるまで、また同じ条件で３校に投票してもらえば良い。
	副部会長	（２）の意見がほとんどであるが、（２）で進めてよいか。

(3) 校章デザインのアンケート案について		(「はい」の声あり)
	副部会長	では、選考方法に関しては(2)とする。
	副部会長	次に、議事(3)について事務局の説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	校章デザインのアンケート案として、案の提示方法についてである。児童による投票を行う際のアンケートフォームについて、次の案を参考に決定したい。 (1)は、応募用紙の記載事項をそのまま使用するものである。投票を行うデザインとその説明について、応募いただいた状態のものをそのまま掲載し、投票を行うものである。 (2)は、手書き部分を修正したものを使用するものである。デザイン及びその説明について、手書きであった部分をそれぞれデータ化した上で掲載し、投票を行うものである。 なお、案5については、説明文は手書きではなかったが、原本では小さく見づらいため、同様に打ち換えている。 (1)、(2)それぞれにメリット、デメリットがあるので、これらを参考に、どのような形でアンケートフォームを作成した方が良いか、協議していただきたい。
	副部会長	今の説明について質問、意見はあるか。
	委員	低学年はこの長文の説明を細かく読んで理解しようと思わないと思う。低学年の児童は、手書きの部分を修正したものならば、きれいでイメージで選びやすいのではないかと。読まないことを前提にするわけではないが、見たときにそのイメージが手書きとデータでは差が出るため、(2)の手書きを修正したものを使用する。説明はやはり大事かと思うので、そうするとトータルで(2)が良い。
	副部会長	私も子ども会の親子会するときでも、委員から「手書きのものはこのままなのか」という質問が2回ほど出た。修正されている方が間違いないと思う。
	委員	私も修正したデータの方が良い。

(4) その他	委員	完成した形の方が選びやすい。
	副部会長	では、案の提示方法は(2)で良いか。 (「はい」の声あり)
	副部会長	案の提示方法は(2)で決定する。
	副部会長	議事(4)その他についてあるか。
	事務局 (教育総務課長)	1点目として、閉校記念式典の概要について、現在協議されている内容について、報告していただきたい。
	委員	3校の校長で相談し、横断幕と記念誌については共通で作成することとなっている。 式典については、令和7年3月1日に三田ヶ谷小で実施を予定している。本校では、学校運営協議会の委員に了承をいただいて閉校委員会委員を兼ねている。市からの予算と150周年記念式典の残金があり、その予算を使用する。 横断幕については、入口の三田ヶ谷小の看板に、縦で「さよなら三田ヶ谷小」「ありがとう三田ヶ谷小」等を掲示することを検討している。 記念誌については、できる限りコンパクトなものにして、三田ヶ谷地区全戸に配布できるように検討している。 三田ヶ谷地域のもの作りの会社と話を進めており、子供たちが提案した閉校記念グッズを残金で作り、それを閉校式典で配布できるように進めている。
	委員	井泉小学校は、3月8日土曜日の午前中に150周年記念式典と閉校式を行う予定である。 横断幕については、横断幕の業者に見積りとデザイン案について作成を依頼している。 記念誌については、過去の写真を収集したり、明治6年からの学校の沿革誌を確認したりしている。 組織については、PTA本部、おやじの会、自治会長、教職員で実行委員会を組織している。
	委員	村君小学校は、閉校記念行事を3月1日土曜日に行

5 閉会	事務局 (教育総務課長)	う予定である。今週末に出す学校だよりで全ての保護者の方に周知をする予定であるが、内容についてはこれから実行委員会を開いて決める予定である。 実行委員会については、学校運営協議会、村君地区の各団体の代表、PTA、学校で組織しようと考えている。1回目の集まりは7月下旬で検討している。 横断幕、記念誌については作る予定であるが、記念誌はPTAの広報誌を年2回発行しているうち、2回目のものを記念誌に兼ねるということで、PTAと相談する。 予算については市の閉校記念事業補助金があるので、事業を進めていく。
	副部会長	2点目として、今後のスケジュールについてである。 校章デザインについては、7月の1学期終了前に児童投票を実施したい。決定した校章デザインは、総合教育会議、教育委員会に報告後、再編成だよりや市広報などで周知したい。 また、校歌の作詞者・作曲者についても、総合教育会議、教育委員会に報告後、橋本祥路先生に依頼したい。 開校・閉校行事についてである。閉校式典は、令和7年3月上旬に、開校式典は、4月の入学式に合わせて実施する予定である。 今回は、作詞・作曲者へ依頼し、引き受けていただけるかどうか、引き受けていただいた場合のスケジュール等が確認でき次第開催する。また、併せて、校章デザインが決定したことによる関連事業の進捗についても報告する。 そのため、開催日については未定とし、改めて文書にて通知する。
	司会 (教育総務係長)	<平野副部会長あいさつ> 井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 第10回学校運営部会を閉会した。

【配布資料】

資料1 井泉小・三田ヶ谷小・村君小再編成準備委員会 第10回学校運営部会